

## 社会保険未加入対策など推進

### 第 52 回通常総会を開催

### 関西鉄筋組合

関西鉄筋工業協同組合（岩田正吾理事長）は 5 月 14 日、大阪市北区のラマダホテル大阪で会員企業の代表ら約 60 人が出席して「第 52 回通常総会」を開催し、2012 年度の事業報告・収支決算報告や 2013 年度の事業計画・収支予算、定款の一部変更などの各議案を可決、承認しました。

総会では冒頭、岩田理事長が挨拶し「13年度の公共工事設計労務単価で鉄筋工事は約 15% 上昇したが、これは上昇分を職人に支払わなければまた来年の単価は下がってしまうということ。ゼネコンにも理解してもらい、我々が『もらう活動・払う活動』をしていかなければならない。こうした保険未加入対策とともに、出前講座や若年者の入職促進に向けた取組も進めていきたい」と今後の決意を示しました。また、北成鉄筋工業（福井県鯖江市、北川貞純社長）が新規会員として入会したことを紹介し「同社が加入したことで近畿地方整備局の管内全域をカバーできる体制が整った。道州制や地方分権が言われる中、中央の施策と地域性の両面に対応していく必要がある」と述べて挨拶を終えました。

引き続き、岩田理事長を議長として行われた議事では、定款の一部変更として北成鉄筋工業が加入したことに伴い、組合の地区に福井県を加えることや、今後の広域化を見据えた役員組織に改編することを承認しました。今年度事業計画については、登録基幹技能者講習の開催をはじめ鉄筋技能検定試験の実施、高校・大学等での出前講座開催とともに、社会保険加入の促進などにも取り組んでいく予定です。



岩田理事長

## 有意義な 20 周年に 青年部の第 21 回総会

関西鉄筋工業協同組合青年部（辻本浩二部長）は 5 月 14 日、組合の総会に先立って「第 21 回総会」を開催し、2012 年度の事業報告・収支決算や 2013 年度の事業計画・収支予算などの各議案を承認しました。総会の冒頭で挨拶した辻本部長は「鉄筋工事業界も社会保険未加入対策の取組など様々な面で変わりつつあり、青年部としても独自に勉強していきたい。今年は青年部発足 20 周年の年であり、有意義な記念企画を考えていきたい」と述べました。今年度の主な事業では 20 周年記念懇親会や情報交換会の開催、全国鉄筋工事業協会青年部全国連絡会議への出席などを決めました。



辻本青年部会長